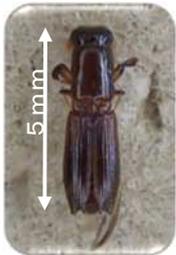


注意!! ナラ枯れ被害拡大中



神奈川県内でナラ枯れ被害が拡大しています



カシノナガキクイムシ

ナラ枯れとは、カシノナガキクイムシが媒介する「ナラ菌」によって、コナラやシイ・カシ類などの樹木が枯れる伝染病です。

ナラ枯れ被害の特徴

- ・7月～9月に葉が紅葉し枯れる
- ・幹の根本に大量のフラス(木くずと虫の排泄物が混じった粉状のもの)
- ・大径木に被害が多い
- ・幹に直径1.5mm～2.0mmの多くの孔がある



夏に葉が茶色になったコナラ
※被害木のすべてが枯れるわけではありません



根本にたまったフラス



爪楊枝の先が入るくらいの孔

ナラ枯れ被害を見つけたら

道路や電線、人家など倒れたら危険な場所にある枯れた木は、適切な処理をお願いします。

駆除対策

○枯れた木は伐倒し、幹の部分を焼却やくん蒸、チップに破碎します。

○根株は、くん蒸処理します。



伐倒くん蒸（伐倒後、幹と根株をくん蒸します）



根株のくん蒸

★10月～翌年5月中旬（カシナガの羽化脱出前）までに実施しましょう。

予防対策 拡散防止対策

○保護したい健全な木は、枯れないように、予防薬を注入します。

○枯れなかった被害木は、粘着シートを巻いて、カシナガを捕殺します。



粘着シート被覆



予防薬の注入

ナラ枯れの疑問

Q 被害にあう木は？

A コナラ、クヌギ、スダジイ、マテバシイ等ドングリの木です。

Q 被害にあうと枯れてしまうの？

A すべての木が枯れるわけではありません。

被害を受けても生き残った木は、抵抗性を持ち続けます。

Q なぜ、被害が増えているの？

A 薪や炭などに使われていた林が放置され、木が大きくなったのが要因の一つと言われています。

Q 被害はいつまで続くの？

A 被害が落ち着くまでには、5～10年くらいかかります。

問合せ先
神奈川県県央地域県政総合センター
森林部森林保全課
電話 046-224-1111 内線2426

詳細については、市町村役場又は左記まで
お問合せください。